

中消防署 火災想定訓練

那賀消防組合中消防署では平成30年5月19日（土）クアドラフォグノズルを使用した火災想定訓練を実施しました。

訓練は、中消防署庁舎を火災建物と想定しクアドラフォグノズルの特性をいかした消火活動ができるように訓練をおこないました。

今後も様々な訓練を実施し隊員の知識及び技術の向上を図り、市民の皆様の安全と安心を確保できるように訓練に取り組んでいきます。



クアドラフォグノズルとは



状況に応じ、放水量がダイヤルを回すことにより（OFF・110・230・360・470/Min）と自由に切り替えができる他、放水パターン（棒状から噴霧）の調整が手元で簡単にできます。

また、ノズル先端にはタービンティース（回転歯）を備え水の粒子を細かくすることで、効果的な自衛噴霧を創り出せ隊員を火災熱から守ることができます。

現在、中消防署にはクアドラフォグノズルが4本配備されています。